



# 自己温度制御凍結防止帯

698-01-15  
698-01-20

## 取扱施工説明書

施工前・使用前に、この取扱施工説明書を必ずお読みください。  
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

### 安全上のご注意 使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく使用してください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

#### **警告** 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

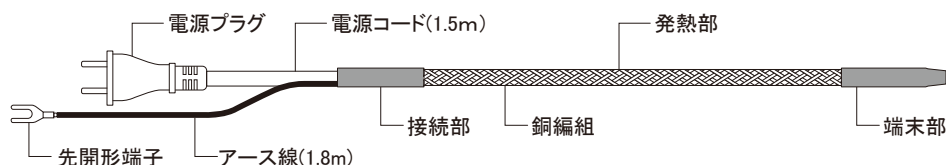
- 本品を水道凍結防止の目的以外では使用しないでください。
- 管の中に入れて使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 発熱部を切ったり、傷を付けたり、衝撃を加えたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください。火災や感電の原因となります。
- 通電中は電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。また、通電しながら本品の取付けはしないでください。火災や感電の原因となります。
- 電源プラグの刃の周囲にほこりが付着している場合はよく拭取ってください。接触不良や絶縁不良による火災の原因となります。
- 電源プラグおよび電源コードは雨水などで濡れない場所に設置し、コンセントから抜いた場合も電源プラグに雨水などがかからないように保護してください。水がかかると絶縁不良や導通不良の原因となります。
- 埋設および水中での使用はできません。埋設や水中で使用した場合、絶縁不良、漏電、火災の原因となります。
- 本品の改造、修理はしないでください。また、発熱部同士のつなぎ合わせはしないでください。火災や感電の原因となります。
- 電源に必ず漏電遮断器(定格感度電流30mA以下)を取付けてください。
- 壁を貫通させる場合は塩ビ管で発熱部を保護してください。発熱部に傷が付き、火災や感電の原因となります。
- 電源プラグを濡れた手で触らないでください。感電の原因となります。
- 電源プラグは完全にコンセントに差込み、電源コードが引っ張られた状態では使用しないでください。

#### **注意** 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

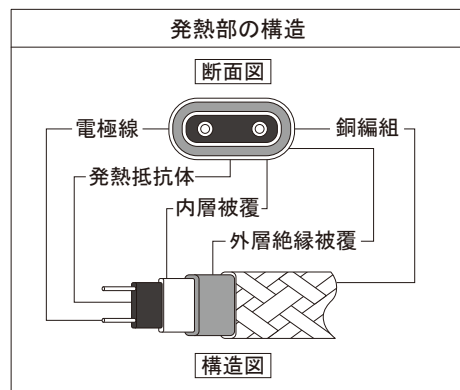
- 電源は適正に配線された専用コンセントを使用してください。感電や火災の原因となります。
- 凍結シーズン前に異常がないか点検を行ってください。
- 凍結シーズン中に長期不在になる場合や凍結シーズン以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化した場合、感電や漏電の原因となります。
- 自然災害のあとには発熱部などに異常がないか確認を行ってください。漏電や故障の原因となります。
- 可燃性ガス・還元性ガス・腐食性ガス雰囲気内では使用しないでください。
- 使用条件に合わせて適正な保温材を選択してください。凍結により、配管の破損などにつながる恐れがあります。
- AC100V以外には絶対に使用しないでください。火災の原因となります。
- コンクリート埋込みなど保守点検および交換できない場所には本品を絶対に取付けしないでください。
- 長年の使用によって経年劣化で抵抗値が変化し、出力に影響を与える可能性があります。使用状況や環境によっても異なりますが、本品は約8年を目安に交換してください。
- 一度取外した本品は再使用しないでください。漏電や故障の原因となります。
- 発熱部は配管に巻き付けず、平行にそわせて取付けてください。
- 発熱部の上に重量物を置いたり、踏み付けたり、無理な力が加わらないよう、十分注意してください。
- 最高使用温度は60℃です。
- 発熱部の取扱いに際しては、絶縁被覆の損傷に十分注意してください。
- 本品の突入電流は定格電流の約3倍流れますので、ブレーカーの定格には注意してください。
- 本品に油や化学薬品などがかからないようにしてください。火災や感電の原因となります。

## 各部のなまえ

### ■ 自己温度制御凍結防止帯



■ 固定テープ  
※発熱部を固定するのに  
使用します。



# 仕様・必要な保温材

## <仕様>

品番	発熱部の長さ	定格電圧	消費電力
698-01-15	15m	100V	210W
698-01-20	20m	100V	280W

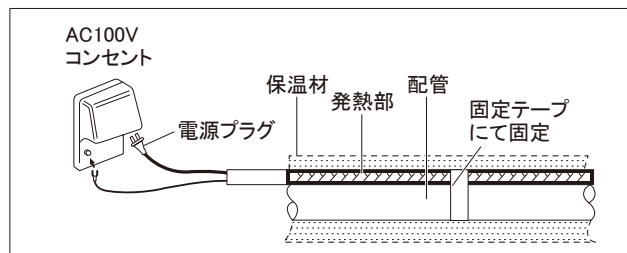
※消費電力は配管の温度が10°Cの場合

## <必要な保温材>

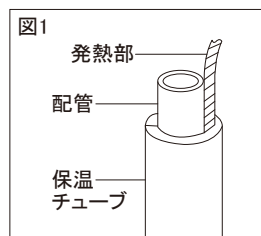
配管径	外気温度	
	-10°C	-20°C
15A	保温テープ	保温チューブ 10t
20A	保温テープ	保温チューブ 10t
25A	保温チューブ 10t	保温チューブ 20t

## 取付方法

- ①発熱部を配管などに取付けます。  
※発熱部は巻き付けず、平行にそわせてください。  
※曲がった箇所に取り付ける場合は、発熱部が過度に屈曲しないように取付けてください。発熱部の性能が十分に発揮できなくなります。
- ②発熱部を配管などに固定テープで固定します。  
※発熱部を固定する際、必ず付属の固定テープを使用してください。絶縁ビニールテープなど、他のテープを使用すると、発熱部の性能に悪影響を与える恐れがあります。



- ③保温材を取付けます。  
<保温テープを巻き付ける場合>  
発熱部を覆うように保温テープの発泡面を内側にしてテープ幅の1/2が重なるように巻き付けます。保温テープの巻き始めと巻き終わりは、ビニールテープで固定します。  
※保温テープは、別途「保温テープ(給湯・給水管兼用)(弊社品番:698-000)4m」をお買い求めください。  
<保温チューブを取付ける場合>  
取付けた配管などに保温チューブを取付けます。(図1)



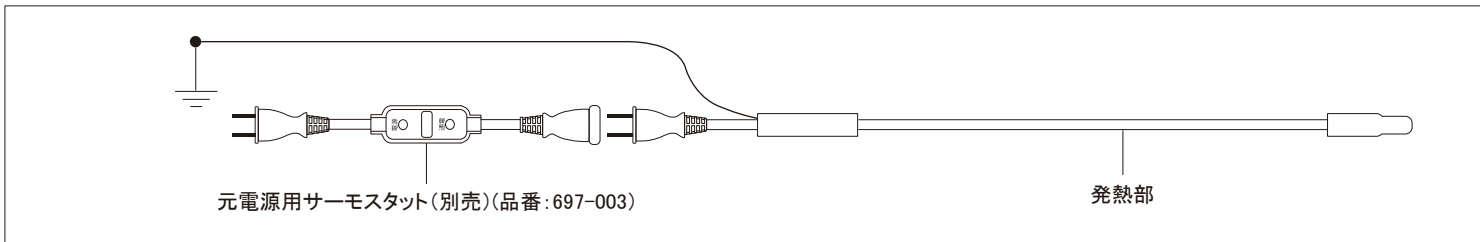
- ④アース線の先開形端子をアース接続端子に取付け、しっかりと固定します。

アース線

■アースについて■

- アースは確実に行ってください。
- アースの方法は図のように行ってください。
- 適切な接地工事を行ったアース接続端子に本品の先開形端子を取付けてください。
- 電源には必ず漏電遮断器(定格感度電流30mA以下)を取付けてください。
- アース工事については電気工事店に相談してください。

- ⑤本品の電源プラグを交流100Vのコンセントに確実に差込みます。  
※本品は自己制御機能がありますので異常加熱などの心配はありませんが、発熱部の耐久性を伸ばすと同時に節電の目的で、別売品「元電源用サーモスタット(弊社品番:697-003)」の併用をおすすめします。



本社 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-4 ☎(06)6538-1124

東京 ☎(03)3552-0981    大阪 ☎(06)6730-3391    札幌 ☎(011)704-1511  
 名古屋 ☎(052)504-1551    福岡 ☎(092)611-4611    仙台 ☎(022)239-8371  
 広島 ☎(082)278-2821

M-E1702C

無断転載・複写を禁ず